

令和4年度ブロック研修会報告書

令和5年2月24日

ブロック名 中国・四国ブロック

研修テーマ	コロナ禍の中での人材育成 ～新任期に地域を診る視点をどう育てるか～
研修の概要	日 時:令和4年11月5日(土) 13:30～15:30 場 所:島根県出雲市民会館 301 会議室 研修方法:集合及び YouTube 配信 ※12/5(月)まで視聴可能 参加者 :会場参加 25 名(島根県支部 23 名、広島県支部 2 名) YouTube 参加 271 名 研修内容 1. 挨拶 島根県支部 前田支部長 2. 令和4年度 全国保健師長会活動報告 報告者:全国保健師長会 会長 松本 珠実 氏 3. 講演 講師:大阪市健康局健康推進部 保健主幹 松本 珠実 先生 内容:①新任期の保健師の人材育成の課題 ②期待する保健師像～地域を看る保健師とは～ ③地域を看る保健師として成長するには ④コロナ禍の人材育成のポイント 4. 質疑、感想等
意見交換の内容 容など	<ul style="list-style-type: none">・各世代の特徴をとらえた関わりを意識しながら、新人の良いところを伸ばしたい。・人材育成のテーマは職業人として自ら成長することであることを再確認した。・基礎教育レベルで学ぶものと各自治体が目指す姿とのギャップを現任教育で埋める必要があるということが印象的であった。・地域を看る視点を育てる土台に、個別ケースで心を揺さぶる経験が必要であるという言葉が印象に残った。・経験的学習理論から、いかに現場での経験を積み重ね、振り返っていくことが大事であることがわかった。・行政職の中で上の立場になる後輩の人材育成においては、「人・物・金」のマネジメントが必要であり、予算取りの経験、若い時から自分の意見を率先していえるようにすることが大切である。
報告者	所属:松江市・島根県共同設置 松江保健所 医事難病支援課 氏名:吾郷寿子 電話:0852-23-1315 メール:ago-toshiko@pref.shimane.lg.jp